

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.24
 ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp



☆お気軽に声をかけて下さい。
 ☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！
 ☆お気づきの点がございましたら、どんな小さなことでも結構です。ぜひご意見を！

市民と市政のかけ橋になりたい！

一般質問が実現しました！

平成21年度から『出前講座』がスタート！



真岡市では、平成21年度から『出前講座』をスタートさせます。この『出前講座』とは、市民の皆様のもとへ職員が出向き、市が取り組んでいる事業や施策、あるいは新しく始まる制度などについてお話をするものです。また、民間講師による趣味や教養の講座も含めたものになる点が、真岡市の『出前講座』の大きな特徴となっています。皆様、ぜひご活用下さい！

※実現に向けてご尽力いただいた関係各位に心から感謝を申し上げます。

福田市長と最後の“論戦”

2月定例議会 質疑・一般質問



2月定例議会の質疑・一般質問が、26日(木)、27日(金)の2日間にわたって行われました。中村は27日のトップバッターとして登壇。1件の質疑と3件の一般質問を行い、執行部の考えをいただきました。

なお今回は、さきに勇退を表明した福田武隼市長との最後の論戦となりました。
 (中面に関連記事)

中村が行った一般質問の内容

- 【質疑】
 1.「真岡市民会館自主事業基金条例の一部改正」について
- 【一般質問】
 1.教育関係の諸課題について
 (1)不登校対策について
 (2)教育委員会における機能強化について
 (3)学校図書館の充実化について
 2.市民と行政の協働によるまちづくりについて
 (1)自治基本条例について
 (2)行政の事務事業評価について
 (3)各種審議会について
 3.障がい児・者に対する支援策について
 (1)第2期障害福祉計画の策定について
 (2)ひまわり園の施設整備について

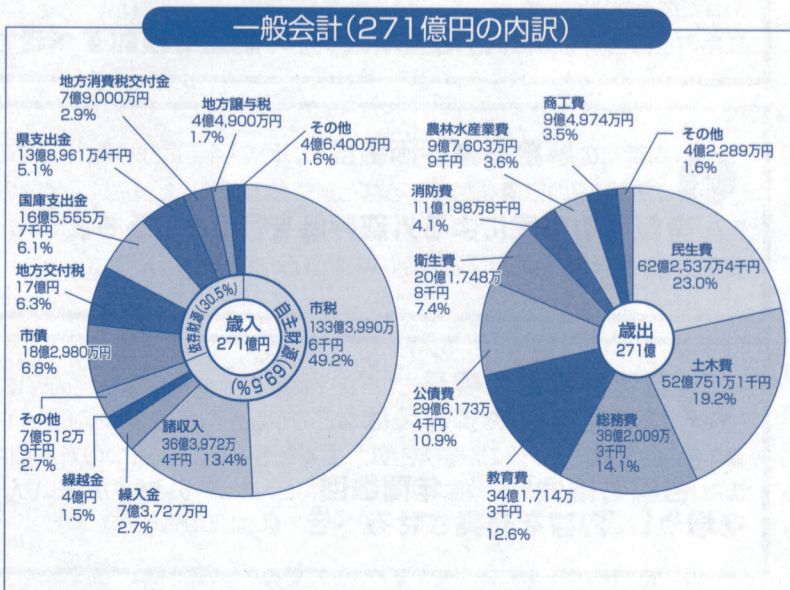
「見逃した」という方に
 バックナンバーをお送りします

次回発行予定日
 7月12日(日)
 次回の「中村かずひこ通信」は発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。今回は、4月26日に行われた市長選を考慮しまして発行を遅らせました。ご了承ください。

真岡市 平成21年度 当初予算

総額は **467億6,881万7千円** 対前年比 51億2,846万4千円増(真岡市のみ) 50億2,803万円減(真岡市+二宮町)

平成21年度 会計別予算額	
会計名	当初予算額
一般会計	271億円
特別会計	
国民健康保険	85億5,863万円
後期高齢者医療	5億4,109万円
老人保険	1,078万3千円
介護保険(保険事業勘定)	40億9,313万3千円
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,195万円
インターチェンジ周辺開発事業	11億4,666万7千円
久下田北部土地区画整理事業	15万円
公共下水道事業	24億2,030万6千円
農業集落排水事業	4億6,674万1千円
簡易水道事業	4,263万8千円
計	172億9,208万8千円
水道事業会計	23億7,672万9千円
合計	467億6,881万7千円



How much? 真岡市の市債償還予定額 (今後、市が返さなくてはならない借金)
 一般・特別水道事業会計+利子含む 総額 **549億4,156万円** (平成19年度末現在) (前年比6億8,193万3千円減)



質問:中村かずひこ

中村かずひこ議会レポート

2月定例議会 質疑・一般質問

答弁者：福田 武隼 市長
 佐藤 務 教育長
 手塚 仁 保健福祉部長
 内田 龍雄 教育次長

1. 質疑(市が提出した議案に対する質問)



『真岡市民会館自主事業基金条例の一部改正』について

質問 今回の条例改正により、真岡市民会館自主事業基金を、従来の**600万円から1,000万円に増額**させるとのことであった。今後は、真岡市民会館だけでなく二宮文化会館(旧・町民会館)でも、この基金が使われることになるが、今回の基金増額で**市民会館の自主事業は拡充できるのか**。

答弁 今回の基金増額により、**公演料が高額な音楽家による公演などを実施することが可能**となる。自主事業の拡充については、1,000万円の基金を有効に活用し、真岡市民会館と二宮文化会館の機能・特性を活かしながら、公演内容の充実が図れるものと考えている。

2. 教育関係の諸課題について



質問 真岡市における**中学生の不登校率**は、平成13年度(5.10%)以降改善されてきた。しかし、**19年度**を見ると**4.66%**であり、悪化していることが大変気がかりである。また、**小学生**についても**全国平均の約2倍にあたる0.71%**であった。教育委員会では、今後どのような対策を講じる考えなのか。

答弁 昨年『真岡市の不登校対策の方針』を示し、**平成20年度からの3年間で、不登校児童生徒を30%減らす**ことを目標としている。この目標達成のために、不登校児童生徒の状況を記した『個別支援票』を作成し、学校内で組織的な対応が図れるようにした。なお、**今年1月末の時点での不登校率は、小学校で0.38%、中学校で3.81%**となり、年度当初の目標数値は達成しつつある。

質問 これまで**教育委員会**では、指導主事や臨床心理士などの**専門家を配置し、教育現場に対する指導体制**を充実させてきた。しかし、**二宮町と合併**すると、芳賀郡市全体から見て教職員・小中学生とも半数以上が真岡市の管轄となる。現時点でも各専門家が**多忙を極めている中で、十分な機能を果たすのか不安**が残る。**指導主事や臨床心理士の増員、または管理主事の配置**をすべきではないか。

答弁 平成20年度から、特別支援教育支援員(小学校3校に3名)と、臨床心理士(1名)を配置した。このうち、**臨床心理士**については4月から1月までの**相談件数が181件**であり、相談件数が多かったため追加措置を行い対応したところである。当面、**学校への支援**は現体制で行うが、**二宮町との合併を機に再検討**していきたい。

質問 これまで複数の**学校図書館**を個人視察したが、**図書**の劣化が極めて著しいと感じた。本来は廃棄すべき図書まで残しておけば、基準はクリアできるかも知れないが、それで問題解決になるとは思えない。今後、**図書購入費を拡充させる**考えはあるのか。また、**子ども達の読書指導**を充実させるために、**専門の学校司書や、司書ボランティア**を配置してはどうか。

答弁 現在のところ、各学校の蔵書数については国の基準を満たしているが、**学校図書館の充実を図ることは必要である。限られた予算の中**ではあるが、**図書の管理・整備に努めるよう**各学校の取り組みを支援していきたい。また、**読書指導**については各学校に司書教諭を配置しているが、**本の読み聞かせや読書指導のボランティアなど地域の人材を活用し、さらなる充実を図って**いきたい。

3. 市民と行政の協働によるまちづくりについて



質問 厳しい財政状況、そして市民の公共サービスに対するニーズが多様化する中で、以前のように行政頼みでまちづくりを進めることが困難な時代となった。だから、**市民と行政がパートナーシップを組む必要性**があるのだが、考え方や価値観が違う者同士なのだから、**一定のルール化、役割の明確化**があって然るべきである。二宮町との合併を機に『**自治基本条例**』の制定を検討すべきではないか。

答弁 協働によるまちづくりは、市勢発展長期計画や新市基本計画の中で、重要な柱として位置づけており、各種施策に取り組んでいるところである。現在のところ『**自治基本条例**』を制定しなくても、協働のまちづくりは推進していけるものと考えているが、市民、自治組織、議会、行政などの役割と責務を明文化することも必要であるので、**合併後の状況を見定め、検討**していく。

質問 真岡市の**事務事業評価制度**は、平成14年度から導入し、この8年間で約120億円の市債を削減するなど実績を上げてきた。しかし、全国の自治体を見ると、**有識者や市民による外部評価を行うところも**増えている。真岡市も外部評価を採用する時期に来ているのではないか。

答弁 平成19年度の総務省調査によれば、**全国の約4割の自治体で事務事業評価**を行い、**そのうち約3割が外部評価**を導入しているとのことである。真岡市の評価方法は、職員による内部評価のみであるが、**外部評価は市民参加を促す可能性があるので、今後調査・研究**していきたい。

質問 **各種審議会の委員**について、女性の構成割合は目標に達しつつあるが、**青年層を増やす**考えはあるのか。例えば、各学校のPTAや商工会議所青年部、青年会議所などに推薦枠を設け、委員を選出するのも1つの方法ではないか。また、**各種審議会**の開催は**年間数回**にとどまっているものが多いが、**審議回数を増やし、内容を充実**させるべきではないか。

答弁 今後、委員の公募や**各種団体などへの働きかけ**により、**より多くの青年層が各種審議会に参加**できるよう努めていきたい。**審議回数**を増やすことについては、審議会によっては性格上回数を増やすことになじまないものもあるが、**回数を増やした方が市政を運営する上で有効と判断されるものについては、その内容を充実させること**も含めて検討したい。

4.障がい児・者に対する支援策について



質問 現在『第2期障害福祉計画』(実施期間:平成21~23年度)の策定が進められているが、

- ①**計画の概要**はどのようなものか。
- ②パブリックコメントを実施した結果、**市民からどのような意見**が寄せられたのか。
- ③障がい児・者本人や家族など**関係者の意見**をどのように**聴取**したのか。

答弁

- ①新たに、不足している短期入所や生活介護、ケアホームなどのサービス受け入れ体制を整備することを課題として盛り込んだ。また『ひまわり園』の**指導体制を充実**させるとともに、**日中一時支援事業**を充実させるため**委託単価の見直し**を実施する。
- ②パブリックコメントでは、市民から**自立支援協議会や相談支援事業・日中一時支援事業**などに対して**16件**、その他障がい者福祉全般に対して5件提出された。
- ③身体・知的・精神の各障がい者**団体や福祉施設の代表**など10名で構成する『**策定懇談会**』を開催した。また、昨年12月に障がい児の保護者と懇談し、様々な意見を聞いた。

質問 心身障がい児通園ホーム『ひまわり園』は、**二宮町の公共施設への移転が計画**されたが、**保護者などから疑問**を呈する意見が出され、**計画が見送り**となった。保護者の声を聞きながら判断したことは高く評価できる。

ただし、**施設老朽化の問題が解決したわけではなく**、できるだけ早い対応が必要と思うが今後の予定は。

答弁

『ひまわり園』については、二宮保健センターを改修し、平成22年度に移転する計画を立てた。しかし、保護者から多くの課題が寄せられたため移転を見送り、当面は現在の施設を活用していくこととなった。
今後も引き続き、**移転、現在地での建て替え・改修などについて関係者の意見を聞きながら、施設整備が図れるよう努めていきたい。**

再質問・再々質問・要望



教育委員会における機能強化について

質問 県内各市で**指導主事**が何人いるのか調べてみると、鹿沼市が9人、日光市が6人、栃木市が5人、大田原市と下野市が4人となっており、**真岡市のように幅広い課題を1人が担当している市はない**。真岡市が二宮町と合併すると、栃木市と同じ程度の規模になる。問題なくやっていけるのか不安が残るが。

答弁

自然教育センターや科学教育センターなどにも配置されている教員を入れると、**真岡市の指導主事は9人**ということになる。また、芳賀教育行政事務組合にも教員が派遣されており、指導体制はかなり整っているものと考えている。

要望

教育委員会における指導体制の課題として、不登校対策などの**教育施策を、いかに各学校に周知・徹底させるか**ということも挙げられる。そうした意味からも、今後他市で行っている**管理主事の配置は検討すべき**であると思われる。

学校図書館の充実化について

質問 読書指導を充実させたいという思いは感じるが、聞いてみると、願望にとどまっているという感が否めない。各学校に**専任の司書を配置した芳賀町**では、**子ども達の読書量が大幅に増えている**。真岡市も具体的な方針と行動を示すべきではないか。

答弁

学校図書館の整備や読書指導については、教育委員会の**重点課題**であると考えている。
読書の指導については、これまでの実例を見ると、**学校やクラス単位での取り組みが重要**と思われるので、**教育委員会としても支援**していきたい。

要望

平成17年12月定例議会でも、学校図書館の充実化について質問し、山形県の**鶴岡市立朝陽第一小学校**の取り組みを紹介した。同校では、**読書指導を学校の柱**に位置づけ、その結果、**学力テストの成績が全国平均より10点高く**、さらに**不登校児童が減少した**との報告もある。たかが読書かも知れないが、されど読書である。充実化が必要と考えるならば、それに見合った施策を打ち出すべきであるとする。

協働のまちづくりについて

要望

日本経済新聞社が発表した『**行政革新度調査**』において、**真岡市は全国の市・区の中で595位**。特に『**市民参加度・協働度**』で**厳しい評価**を受けている。しかし、元々この分野では、真岡市は決して悪かったわけではなく、評価基準が変わったことで評価を下げた。
今、**自治体に問われているのは『協働の意味を正しく理解しているか』**ということである。自治基本条例制定の有無や、各種審議会が市民・行政双方が納得した形で開催されているかということは、まさに協働の根幹部分であり、ぜひとも今後の検討課題としていただきたい。

協障害福祉計画について

質問 計画案を作成する中で、障がい者団体の代表など10名の方が参加して『**策定懇談会**』が開催されたとのことであるが、懇談会は**何回開催されたのか**。
また、メンバーからは**どのような意見が出されたのか**。

答弁

『**策定懇談会**』が開催されたのは**1回**である。
なお、メンバーからは計画案の変更について意見はなかったが、就労支援、サービスの周知、短期入所、日中一時支援、グループホーム、地域活動支援センター、ひまわり園などの充実を求める意見が多く出された。

ひまわり園の施設改善について

質問 引き続き、施設の改善に向けて検討していくとのことであるが、**老朽化が著しい施設**で、寒い日は施設内においても底冷えするほどである。いつごろまでに結論を出すのか、**具体的なスケジュールが示されるべき**ではないかと思うが。

答弁

施設改修などのスケジュールについては、現時点で具体的なことまでは言えない。
今後も**保護者の意向などを踏まえて、引き続き検討**していく。



報告しませ 真政クラブ・公明 会派視察研修

1月26日～28日にかけて、中村が所属する会派「真政クラブ・公明」では、徳島県上勝町と高知県馬路村へ視察研修に赴きました。



上勝町 (ゼロ・ウェイスト政策について)

上勝町は徹底したごみ分別・減量で全国的に注目を集めている。

きっかけは、平成13年にごみ処理施設の更新が必要になったことだったという。当時から国の方針としてごみ処理施設の広域化・大型化が求められていた。しかし、厳しい財政状況の中で同町が選択したのは、『ゼロ・ウェイスト(ごみをなくす)』という視点から対応することであった。

同町のごみ分別は34品目。その細かさは真岡市の2倍に及ぶ。



馬路村 (ゆずによる村おこしについて)

馬路村が、ゆず栽培と関連用品の開発に力を入れるようになったのは昭和40年頃から。当時から中心的役割を担っていたのが東谷望史氏(馬路村農協組合長)である。

東谷氏は年間80日も全国のイベントを回り、ゆず商品のPRに努めた。現在は年間約30億円の売り上げを誇る。

『村をまるごと売り出す』というコンセプトやイメージ戦略のうまさも、今後真岡市がいちごや木綿等の特産品を売り込む上で大いに参考になると思われた。

今回の視察では、下記の金額が公費でまかなわれました。(3日間:議員1人あたり)

※当然のことですが、視察中の飲食代は、全て議員の個人負担です。

総額	89,650円	出所	政務調査費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代		

なお、視察の詳しい所見については、中村のホームページに掲載予定です。

ぜひお越し下さい!

第5回

中村かずひこ 市政報告会

日時
5月26日(火) PM7:00~

会場
大谷公民館(高岡酒店西側)



昨年の様子より

コラム ズーむあっぴ

『学校図書館の現状を1度見にきてください』

保護者からの指摘を受け、市内のある小学校に出向いたのは昨年11月のことだった。実際に見学してみると、古い図書が多く劣化が極めて著しいと感じた。気になって1冊の本を開いてみると、購入年が『昭和58年』と記されていた。その後、違う小学校にも出向いてみたが、やはり同じような状況であった。

これまで真岡市教育委員会では、『市内の学校図書館の蔵書数は全国の基準に達している』との見解を示してきた。本来は廃棄されるべき本まで残しておけば、確かに蔵書数の基準はクリアすることができる。しかし、それが学校図書館のあるべき姿なのだろうか。

ちなみに、真岡市の学校図書館における図書購入費を平成14年度と19年度と比較してみると、小学校で16.8パーセントの減少、中学校では19.7パーセントも減少している。

近年、『国際的に見て日本の子ども達の学力低下が著しい』と懸念する声が各方面から聞かれる。ただし、この理由については、学力

子ども達の『学びやすさ』は大丈夫か? 『住みやすさ』の、その先で

調査の評価基準そのものが『知識中心』から『思考力中心』に変わったことを指摘する専門家がいる。知識や技術が速いスピードで変化している現代社会において、世界的に学校教育の目標が『知識を得る』ことから『一生涯学ぶための力・学び方を身につける』ことに移行しているというのである。

そう考えると、学校図書館の重要性は、“つめ込み主義”教育を受けてきた私たちの世代が想像している以上に大きいということになる。

また、子ども達に対する読書指導のあり方も課題と思える。平成18年度から全ての小中学校に専門の司書を配置した芳賀町で、子ども達の読書量が3~4倍に増えたという。大人たちの適切なサポートがあれば、子ども達はどんどん伸びていくことを如実に物語っている。

真岡市はこれまで、『住みよさランキング』で全国的に高い評価を受け続けてきたが、その一方で、子ども達の『学びやすさ』については、今後の大きな課題の1つと言えるのではないだろうか。

中村かずひこと 未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひこ活動目誌

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1/5 真岡青年会議所理事会 | 2/25 真岡青年会議所例会 |
| 6 賀詞交歓会 | 26 質疑・一般質問1日目 |
| 7 真岡青年会議所市民意識向上委員会 | 27 質疑・一般質問2日目 |
| 10 真岡市消防団出初式 | ※この日、1人目として登壇 |
| 11 成人式 | 28 市民議会見本市(於:東京・日本青年館) |
| 14 真岡青年会議所総会 | |
| 18 大谷地区もちつき大会 | 3/1 『地方自治を学ぶ会』研修(於:宇都宮市) |
| 19 あいさつボランティア | 2 あいさつボランティア |
| 20 『ひばりの会』定例会 | 真岡青年会議所市民意識向上委員会 |
| 21 叙勲者の会新年会 | 5 総務常任委員会 |
| 22 議会だより編集委員会 | 真岡青年会議所理事会 |
| 23 真岡市消防団本部役員・部長新年会 | 9 あいさつボランティア |
| 26~28 会派視察研修(徳島県上勝町、高知県馬路村) | 予算審査特別委員会通告 |
| 28 真岡青年会議所例会 | 10 真岡中学校卒業式 |
| 29 真岡青年会議所市民意識向上委員会 | 朝日新聞社から取材 |
| 31 麻生内閣『国民対話』(於:宇都宮市) | 11 予算審査特別委員会 |
| | 議会運営委員会 |
| 2/1 『伊夜日子会』奉仕作業 | 12 日本青年会議所関東地区協議会『青志塾』(於:宇都宮市) |
| 4 真岡中学校立志式 | 13 議員協議会 |
| 6 男女共同参画社会づくり市民会議 | 2月定例議会閉会 |
| 9 議員協議会 | 議会だより編集委員会 |
| 12 議会運営委員会 | 15 『伊夜日子会』奉仕作業 |
| 13 交通安全市民大会 | 真岡小学校校舎竣工式 |
| 16 あいさつボランティア | 16 あいさつボランティア |
| 17 ライブリー教室を個人視察 | 18 真岡青年会議所市民意識向上委員会 |
| 18 国民健康保険運営協議会研修会 | 19 真岡西小学校卒業式 |
| 真岡青年会議所市民意識向上委員会 | 23 あいさつボランティア |
| 19 議員協議会 | 24 真岡市・二宮町合併記念式典 |
| 2月定例議会開会 | 真岡青年会議所市民意識向上委員会 |
| 質疑・一般質問の通告書を提出 | 25 真岡青年会議所例会 |
| 20 役所担当課との接見 | 28 やまさわの里役員会 |
| 23 あいさつボランティア | 29 大谷地区総会 |
| 真岡東小学校を個人視察(学校図書館の現状を調査) | 30 真岡地区遺族会役員会 |